
実は私って小説なんて書けねえんじゃねえか。って思ったりもしたりして...

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

実は私って小説なんて書けねえんじゃねえか。って思ったりもしたりして…。

【Nコード】

N67380

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

また、やっちゃまった。これ小説じゃねえから。ジャンルは……ってーと、叫び？心の叫びだな。

(前書き)

何度も申しませんが、これは小説ではありません。読んでムカつくつて方は読まないで下さい。私は人を傷付ける為に、叫んでいるのではないので…。

昨日の晩、『寝不足に任せて…』を書いてから、今日の朝、我を取り戻したら『あゝ、なんて物書いてんだあ！』って自己嫌悪に陥った。

しかし、よく考えてみると、私は自分でも分かっている通り長文ちゆうヤツが苦手だ。

と、言う事は小説なんて書けねえんじゃないやねえの？って結論に達した。

安易な考えかもしれねえ。でもよ、考えてみれば考えてみる程、私は小説つゝ物を特に書いてねえ気がする。

しかしだ、ここからが本題だ。読者の感想・一言つてのは著者の栄養なんだよ！前にも言ったかもしれないが、著者で読者ってヤツもいるだろう。読者に徹しているヤツもいるだろう。前に言った時に、馴れ合いの、傷の舐め合いの感想なんて無意味だつて言つたヤツもいる。そりゃあ、そうかもしれないねえ！でもよ、なんか一言貰つてよ、『よし、本当に読んでくれてるんだ。次も頑張つて書くぞ！』つてヤツも沢山いる筈なんだよ！私だけじゃねえつて思う。書いても書いても書いても書いても、反応無くてよ、アクセス数見たら読まれてるような数字出てるクセにな〜んの感想・一言も無くてもよ、もしかしたら開いただけじゃねえの？こんだけ考えて書いた物がそんなにしょーもなかつたかなあ？つて不安になつてるヤツ沢山いると思うぜ！！

書くヤツの中にもただ書くつていうようなヤツもいるだろうがよ。

もうちょっと著者への配慮ってのがあってもいいんじゃないかねえか！？

詩なんてよ、特にその不安要素が多いんだ！短い文章の中に凝縮した心をギュッと詰め込んで投稿する。短い文章だから感想も書きにくいってのは分からないでもない。しかし、テメエら読むだけ読んで『はいサヨナラ』ってのは余りにも無情じゃねえか！そうだから凝縮した心をポイ捨てされてんだからよ！

短編だってそうさ。確かに連続小説と違って展開が早かったり、『そんな終わり方あり？』って物もあるだろうがよ。長編を書くのが苦手で短編を書き連ねているようなヤツもいるんだよ！

そういうトコロにも配慮ってのが必要だと思わねえか？人と人は一期一会。文章の世界でもその一期一会、変わんねえじゃねえのか！そうしたら、著者も気持ちよく書いて、読む方も気持ちよく読めんじゃねえかなあ。

偏った意見だとは思う。偏った意見だとは思うけどよ、なんか無性に訴えたくなくなっちゃってよ。

すまねえな長くなっちゃってよ。毎度の事で、『テメエ本当にそう思ってるか！？』って思う方もいると思うけど、礼儀として謝るとかねえと気がすまねえので謝っとく。

長々とすいませんでした。もしお気を悪くされた方に関しましては深くお詫び致します。長く話を聞いて・読んで頂き誠にありがとうございました。

(後書き)

読まれても反応が無く自信を無くしている方も多数いると思います。一言、たった一言だけでもいい。その方が自立して自分の文章というモノを確立出来る日まで、読者兼著者や読者専門の方が温かく見守ってあげられないでしょうか？

短い文章でしたが、読んで頂きありがとうございます。
また、気を悪くされた方には深くお詫び申し上げます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6738o/>

実は私って小説なんて書けねえんじゃねえか。って思ったりもしたりして...

2010年11月3日01時24分発行